

社会との共創により新たな価値観・ビジョンを提示

成長戦略本部を創設



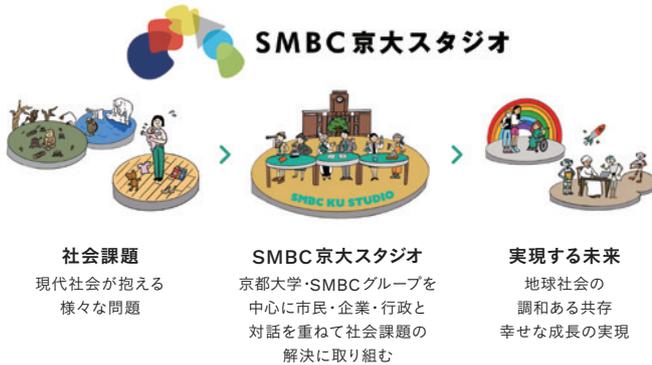
世界初の社会価値をここから誕生させるために社会と大学とのインターフェースとして新たな価値創出をめざして、2024年4月に研究成果活用とファンドレイジングの機能を統合して、成長戦略本部を創設しました。



社会的価値を創造する工房「SMBC 京大スタジオ」を開設

京都大学、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、株式会社日本総合研究所は、2024年7月1日に京都大学内に「SMBC 京大スタジオ」を設立しました。独創的な研究を行う総合大学と産業界のハブとなるグローバル金融グループで連携し、社会課題起点のユニークな切り口で研究プロジェクトを立ち上げ、課題解決に向けた活動を進めています。

設立当初より「発達特性がある人材の職場での活躍」「貧困・格差・虐待の連鎖を断ち切る教育アプローチ」「高齢期の身じまいにおける意思決定のあり方」について研究と社会への発信を両輪で進めてきました。また、2025年度は学内公募を通じた新規テーマの立ち上げにも取り組んでいきます。



新たな
ビジョン

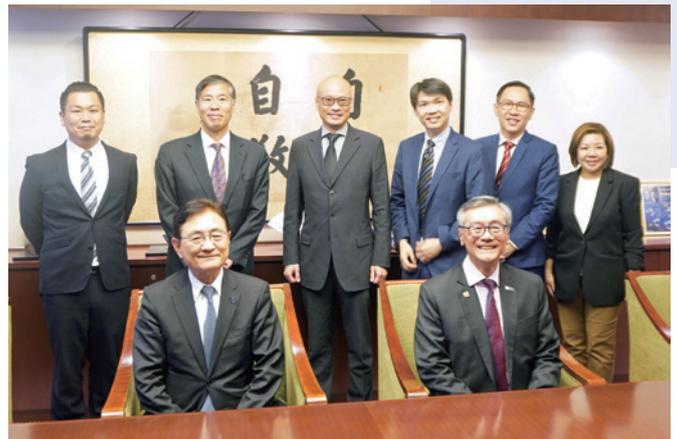
社会課題
プラットフォーム

アカデ
視座と

シンガポール国立大学と連携協定を締結

京都大学は、スタートアップ育成を目的に海外の大学と組む初めての取り組みとして、2025年3月26日、産学連携領域においてシンガポール国立大学(NUS)と連携協定を締結しました。

連携協定の調印式のため、NUSからTan Eng Chye 学長やNUSで産学連携活動を所管するNUS EnterpriseのSien Tan 本部長などが来学され、湊長博 総長、室田浩司 副理事(社会連携・イノベーション推進担当)・成長戦略本部長と懇談を行いました。両者は「グローバルで活躍できるスタートアップを誕生させる」との目標で一致し、両大学は今後、大学発スタートアップ創出の強化やスタートアップへのインターン派遣、アントレプレナーシップ教育コースの相互活用などの施策を協力して行っていく予定です。



京都府、京都市との包括連携協定を締結

2025年3月26日、本学は、京都府および京都市と、世界から京都に多様な人材を呼び込み、次世代に向けた新たな価値や技術を創造し、京都の未来を切り拓くとともに、我が国における行政と大学との連携による国際的な学術都市形成を牽引することを目的に、三者での包括的な連携協定を締結しました。

今後、三者は協定で合意した連携・協力事項をより効果的に機能させるため、具体的な取組や実施方法などについて、定期的に協議を行い、さらなる連携を推進していきます。



「一般社団法人 京都大学フォトニック結晶レーザー研究所」を設立

2024年12月2日、京都大学はフォトニック結晶レーザー（PCSEL：Photonic-Crystal Surface-Emitting Laser）研究の実用化への橋渡しを目的とした「一般社団法人 京都大学フォトニック結晶レーザー研究所」を、桂キャンパスAクラスターA1棟内に設置しました。本学が世界をリードするフォトニック結晶レーザーは、フォトニック結晶（屈折率が異なる物質を光の波長と同程度の間隔で並べたナノ周期構造の人工結晶）を活用した半導体レーザーで、1999年に野田進 工学研究科教授（当時、准教授）が発明しました。高出力・高ビーム品質動作が可能で、かつさまざまな機能性を持っており、スマート製造やスマートモビリティをはじめとする超スマート社会への応用が期待されています。今回、設立した法人が実用化のための橋渡し機能の中心を担うことで、より実践的な研究開発や普及活動等が可能になり、社会実装の加速が可能となります。



価値観・
の提示

型対応型
フォーム

ミアの
思考

起業家育成プログラム <https://kuep.jp>

京都大学アントレプレナープラットフォーム(KUEP: Kyoto University Entrepreneurs Platform)は、京都大学を起点とした、起業家育成のために必要なさまざまなリソースを提供するための基盤となるものです。KUEPでは、大きく分けて、物理的なプラットフォームと人的なプラットフォームを提供しています。

